

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年8月6日

【四半期会計期間】 第36期第2四半期(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

【会社名】 サイバネットシステム株式会社

【英訳名】 Cybernet Systems Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役 安江 令子

【本店の所在の場所】 東京都千代田区神田練塀町3番地

【電話番号】 03-5297-3010

【事務連絡者氏名】 経理担当取締役 木元 覚

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区神田練塀町3番地

【電話番号】 03-5297-3010

【事務連絡者氏名】 経理担当取締役 木元 覚

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第35期 第2四半期 連結累計期間	第36期 第2四半期 連結累計期間	第35期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年6月30日	自 2020年1月1日 至 2020年6月30日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (千円)	11,798,929	11,871,278	21,350,645
経常利益 (千円)	1,657,451	2,011,462	2,145,731
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	1,049,187	1,343,216	1,258,246
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	1,021,831	1,337,192	1,280,496
純資産額 (千円)	13,617,230	14,566,874	13,636,254
総資産額 (千円)	20,678,925	21,449,155	20,821,570
1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	33.67	43.10	40.38
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	65.1	67.1	64.7
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,792,740	1,039,616	2,590,053
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	19,874	667,829	482,627
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	271,984	416,884	512,280
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	9,869,544	11,182,622	9,935,607

回次	第35期 第2四半期 連結会計期間	第36期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	20.62	30.30

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 当社は、第31期第2四半期連結会計期間より「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」を導入していましたが、第35期第1四半期連結会計期間において当該制度を廃止し、当該信託が所有する当社株式を無償取得のうえ消却しております。なお、当該信託が所有していた当社株式については、自己株式として計上していたため、1株当たり四半期(当期)純利益金額の算定にあたっては、当該株式数を控除する自己株式に含めて「普通株式の期中平均株式数」を算定しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。なお、新型コロナウイルス感染症による影響について継続して注視しており、業績への影響を最小化すべく引き続き取り組んでまいります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

財政状態の状況

(資産)

流動資産は、197億50百万円（前連結会計年度末比7億28百万円の増加）となりました。これは主に、現金及び預金の増加7億42百万円、受取手形及び売掛金の増加6億18百万円、有価証券の増加5億円、短期貸付金の減少9億8百万円によるものです。

固定資産は、16億98百万円（前連結会計年度末比1億1百万円の減少）となりました。これは主に、繰延税金資産の減少1億37百万円によるものです。

この結果、当第2四半期末における総資産は、214億49百万円（前連結会計年度末比6億27百万円の増加）となりました。

(負債)

流動負債は、56億9百万円（前連結会計年度末比3億15百万円の減少）となりました。これは主に、賞与引当金の減少3億93百万円によるものです。

固定負債は、12億72百万円（前連結会計年度末比12百万円の増加）となりました。

この結果、当第2四半期末における負債合計は、68億82百万円（前連結会計年度末比3億3百万円の減少）となりました。

(純資産)

当第2四半期末における純資産は、145億66百万円（前連結会計年度末比9億30百万円の増加）となりました。これは主に、利益剰余金の増加9億52百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の64.7%から67.1%となりました。

経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間の業績は、国内売上高は、ITソリューションサービス事業が増収になりましたが、CAEソリューションサービス事業が減収になりましたことにより、減収になりました。海外では、台湾の子会社、ベルギーの子会社が増収になりました。その結果、連結売上高は前年同期に比べ増収となりました。利益面では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも、経費のコントロールを図り利益確保に努めました結果、営業利益は増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は118億71百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は20億31百万円（前年同期比25.0%増）、経常利益は20億11百万円（前年同期比21.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億43百万円（前年同期比28.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(CAEソリューションサービス事業)

主力商品のマルチフィジックス解析ツール及び光学系解析ツールの新規ライセンス販売は、電機・電子部品・精密機器業界、教育官公庁からの受注は堅調に推移いたしました。新型コロナウイルスの影響で一部の顧客で導入見送りや発注プロセスの停滞に伴う延期が発生いたしました。保守契約の更新は同様の影響は大きく受けず堅調に推移いたしました。サービスビジネスは、一部のプロジェクトの開始遅延や集合教育型の有償セミナーの実施が中止となり、低調に推移いたしました。

エンジニアリングサービスは、新型コロナウイルスの影響による自動車業界全般からの新規MBD関連業務の開始延

伸の影響を受け、低調に推移いたしました。

WATERLOO MAPLE INC. (カナダ) は、日本では好調に推移いたしましたが、北米では低調に推移いたしました。Sigmatrix, L.L.C. (米国) は、3次元公差マネジメントツールの販売が北米では好調に推移いたしましたが、欧州及びアジアでは低調に推移いたしました。Noesis Solutions NV (ベルギー) は、最適設計支援ツールの販売が日本では低調に推移いたしました。

莎益博工程系統開発(上海)有限公司(中国) は、マルチフィジックス解析ツールの販売が好調に推移いたしましたが、光学系ソフトウェアの販売が低調に推移いたしました。思渤科技股份有限公司(台湾) は、マルチフィジックス解析ツール及び光学系ソフトウェアの販売が好調に推移いたしました。CYFEM Inc. (韓国) は、光学系ソフトウェアの販売が好調に推移いたしました。CYBERNET SYSTEMS MALAYSIA SDN.BHD. (マレーシア) は、マルチフィジックス解析ツール及び光学系ソフトウェアの販売が低調に推移いたしました。2020年1月に事業を開始したサイバネットMBSSE株式会社(日本) は、エンジニアリングサービスが計画に対して低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は96億84百万円(前年同期比0.5%減)、セグメント利益(営業利益)は25億73百万円(前年同期比17.7%増)となりました。

(ITソリューションサービス事業)

エンドポイントセキュリティソリューションは、新型コロナウイルスの影響で新規は横ばいとなりましたが、セキュリティレベルの維持は必要と考える企業が多く、更新は好調に推移いたしました。IT資産管理の窓口(主要商品の複数販売)ソリューションは、PC管理ニーズに支えられ、新規及び更新も好調に推移いたしました。クラウドセキュリティソリューションは、クラウドサービス利用増加に伴い更新が好調に推移いたしましたが、その他の分野が低調に推移し、減益となりました。

以上の結果、売上高は21億86百万円(前年同期比5.8%増)、セグメント利益(営業利益)は1億38百万円(前年同期比32.3%減)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物は111億82百万円となり、前期末に比べて12億47百万円増加しました。当上半期のキャッシュ・フローの状況とその主な要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、10億39百万円のプラスとなりました(前年同期比7億53百万円減)。運転資金の増加(売上債権の増加5億58百万円等)や法人税等の支払(4億93百万円)がありましたが、主に税金等調整前四半期純利益(20億9百万円)の計上により営業キャッシュ・フローはプラスとなりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、6億67百万円のプラスとなりました(前年同期比6億47百万円増)。経営システム基盤強化のための無形資産の取得による支出(1億95百万円)を行う一方で、親会社への貸付金の回収による収入(9億8百万円)によって、投資キャッシュ・フローもプラスであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億16百万円のマイナスとなりました(前年同期比1億44百万円減)。前期末の増配に関する配当金の支払(3億88百万円)が、主な要因です。

(3) 資本の財源及び資金の流動性に係る情報

当社グループは、事業に必要な資金を安定的に確保することを基本方針としております。当社グループの資金需要は、運転資金のほか、ソフトウェア開発費用、企業価値向上への貢献が見込める成長分野への事業投資等があります。これらの資金需要に対しては、自己資本及び必要に応じて親会社のCMS(キャッシュ・マネジメント・システム)または金融機関からの借入による資金調達を実施致します。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は24百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	129,600,000
計	129,600,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年8月6日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	32,076,000	32,076,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株 あります。
計	32,076,000	32,076,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年6月30日		32,076,000		995,000		909,000

(5) 【大株主の状況】

2020年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
富士ソフト株式会社	神奈川県横浜市中区桜木町1-1	16,807,500	53.91
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	773,100	2.48
畠山 敬多	宮城県気仙沼市	581,000	1.86
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	347,100	1.11
峯 正	山口県宇部市	314,000	1.01
サイバネットシステム社員持株 会	東京都千代田区神田練塀町3	299,100	0.96
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口5)	東京都中央区晴海1-8-11	293,000	0.94
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口9)	東京都中央区晴海1-8-11	277,800	0.89
USAA MUTUAL FUNDS TRUST - USAA INTERNATIONAL FUND [常任代理人] シティバンク、エヌ・エイ東京 支店	9800 FREDERICKSBURG ROAD SAN ANTONIO, TX 78288 (東京都新宿区新宿6-27-30)	217,100	0.70
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505051 [常任代理人] 株式会社みずほ銀行決裁営業部	P.O.BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U.S.A (東京都港区港南2-15-1)	202,800	0.65
計	-	20,112,500	64.51

(注) 1. 上記には含まれておりませんが、当社は、自己株式897,851株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合2.80%)を保有しております。

2. 当第2四半期会計期間末現在における日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社及び日本マスタートラスト信託銀行株式会社の信託業務に係る株式数については、当社として把握することができないため記載しておりません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 897,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 31,174,400	311,744	
単元未満株式	普通株式 3,800		
発行済株式総数	32,076,000		
総株主の議決権		311,744	

(注) 1. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式51株が含まれております。

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) サイバネットシステム株式会社	東京都千代田区 神田練堀町3番地	897,800		897,800	2.80
計		897,800		897,800	2.80

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,019,357	3,761,432
受取手形及び売掛金	4,382,373	5,000,450
有価証券	7,000,000	7,500,000
商品及び製品	8,910	18,675
仕掛品	9,472	8,119
原材料及び貯蔵品	22,032	12,349
短期貸付金	3,360,115	2,452,102
その他	1,223,421	1,002,679
貸倒引当金	3,565	4,921
流動資産合計	19,022,119	19,750,889
固定資産		
有形固定資産	364,840	348,093
無形固定資産		
その他	280,695	413,360
無形固定資産合計	280,695	413,360
投資その他の資産		
投資有価証券	1,758	1,655
その他	1,327,044	1,077,210
貸倒引当金	174,887	142,052
投資その他の資産合計	1,153,914	936,812
固定資産合計	1,799,450	1,698,266
資産合計	20,821,570	21,449,155

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,493,580	1,775,775
未払法人税等	530,742	529,265
賞与引当金	727,846	334,492
役員賞与引当金	44,600	17,337
前受金	2,021,158	2,013,365
その他	1,107,933	939,684
流動負債合計	5,925,860	5,609,921
固定負債		
退職給付に係る負債	1,230,834	1,244,790
その他	28,620	27,569
固定負債合計	1,259,455	1,272,360
負債合計	7,185,316	6,882,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	995,000	995,000
資本剰余金	909,000	909,000
利益剰余金	12,145,836	13,098,320
自己株式	577,684	565,150
株主資本合計	13,472,152	14,437,170
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	8,106	54,480
その他の包括利益累計額合計	8,106	54,480
非支配株主持分	172,208	184,184
純資産合計	13,636,254	14,566,874
負債純資産合計	20,821,570	21,449,155

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	11,798,929	11,871,278
売上原価	7,064,759	6,994,601
売上総利益	4,734,169	4,876,677
販売費及び一般管理費	3,109,324	2,845,390
営業利益	1,624,845	2,031,286
営業外収益		
受取利息	9,661	10,578
為替差益	-	11,695
助成金収入	34,740	29,114
その他	2,064	3,502
営業外収益合計	46,466	54,892
営業外費用		
売上割引	16	112
為替差損	13,797	-
助成金の返還	-	74,542
その他	45	60
営業外費用合計	13,859	74,716
経常利益	1,657,451	2,011,462
特別損失		
固定資産売却損	-	32
固定資産除却損	4,704	1,587
特別損失合計	4,704	1,620
税金等調整前四半期純利益	1,652,747	2,009,842
法人税、住民税及び事業税	516,972	493,153
法人税等調整額	49,230	130,603
法人税等合計	566,203	623,757
四半期純利益	1,086,543	1,386,085
非支配株主に帰属する四半期純利益	37,356	42,868
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,049,187	1,343,216

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	1,086,543	1,386,085
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	64,712	48,892
その他の包括利益合計	64,712	48,892
四半期包括利益	1,021,831	1,337,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	991,096	1,296,843
非支配株主に係る四半期包括利益	30,735	40,349

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,652,747	2,009,842
減価償却費	120,021	115,544
受取利息及び受取配当金	9,661	10,578
為替差損益(は益)	6,440	353
固定資産売却損益(は益)	-	32
固定資産除却損	4,704	1,587
売上債権の増減額(は増加)	343,118	558,306
たな卸資産の増減額(は増加)	7,417	6,113
仕入債務の増減額(は減少)	442,386	447,589
未払費用の増減額(は減少)	85,328	129,253
未払消費税等の増減額(は減少)	62,864	2,561
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,576	22,501
賞与引当金の増減額(は減少)	186,085	392,827
役員賞与引当金の増減額(は減少)	14,485	27,262
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	15,984	13,956
その他	146,061	76,721
小計	1,960,214	1,521,345
利息及び配当金の受取額	10,455	11,396
法人税等の支払額	177,929	493,125
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,792,740	1,039,616
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	83,000	80,030
定期預金の払戻による収入	83,000	80,030
有形固定資産の取得による支出	41,232	78,847
有形固定資産の売却による収入	-	57
無形固定資産の取得による支出	47,252	195,911
貸付けによる支出	696,787	-
貸付金の回収による収入	801,607	908,012
事業譲渡による収入	4,005	36,443
その他	465	1,924
投資活動によるキャッシュ・フロー	19,874	667,829
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	259,771	388,509
非支配株主への配当金の支払額	12,212	28,374
財務活動によるキャッシュ・フロー	271,984	416,884
現金及び現金同等物に係る換算差額	49,902	43,547
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,490,728	1,247,014
現金及び現金同等物の期首残高	8,378,815	9,935,607
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,869,544	11,182,622

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
税金費用の計算	連結子会社は、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
受取手形	3,397千円	-

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
従業員給与及び賞与	1,043,785千円	1,049,607千円
賞与引当金繰入額	197,665千円	188,859千円
退職給付費用	38,670千円	37,534千円
役員賞与引当金繰入額	13,055千円	17,337千円
広告宣伝費	125,397千円	75,665千円
地代家賃	135,190千円	141,460千円
業務委託費	172,814千円	147,047千円
旅費交通費	153,752千円	64,554千円
貸倒引当金繰入額	2,958千円	22,501千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
現金及び預金	2,951,834千円	3,761,432千円
有価証券勘定	7,000,000千円	7,500,000千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	82,290千円	78,810千円
現金及び現金同等物	9,869,544千円	11,182,622千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年2月7日 取締役会	普通株式	260,043	8.26	2018年12月31日	2019年2月21日	利益剰余金

(注) 2019年2月7日取締役会決議による配当金の総額には、株式付与ESOP信託口及び役員報酬BIP信託口が所有する当社株式(自己株式)324,000株に対する配当金2,676千円が含まれております。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年8月7日 取締役会	普通株式	239,607	7.69	2019年6月30日	2019年8月26日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年2月6日 取締役会	普通株式	389,477	12.50	2019年12月31日	2020年2月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年8月5日 取締役会	普通株式	325,188	10.43	2020年6月30日	2020年8月24日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	CAE ソリューション サービス事業	IT ソリューション サービス事業			
売上高					
外部顧客への売上高	9,732,011	2,066,917	11,798,929	-	11,798,929
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	-	-	-	-
計	9,732,011	2,066,917	11,798,929	-	11,798,929
セグメント利益	2,186,397	204,125	2,390,523	765,678	1,624,845

(注)1. セグメント利益の調整額 765,678千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 765,678千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	CAE ソリューション サービス事業	IT ソリューション サービス事業			
売上高					
外部顧客への売上高	9,684,381	2,186,897	11,871,278	-	11,871,278
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	-	-	-	-
計	9,684,381	2,186,897	11,871,278	-	11,871,278
セグメント利益	2,573,197	138,266	2,711,464	680,177	2,031,286

(注)1. セグメント利益の調整額 680,177千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 680,177千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額(円)	33.67	43.10
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	1,049,187	1,343,216
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	1,049,187	1,343,216
普通株式の期中平均株式数(株)	31,158,269	31,166,761

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 株主資本において自己株式として計上されていた信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

1株当たり四半期純利益金額の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前第2四半期連結累計期間138,857株であります。

2【その他】

第36期(2020年1月1日から2020年12月31日まで)中間配当について、2020年8月5日開催の取締役会において、2020年6月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 325,188千円

1株当たりの金額 10.43円

支払請求権の効力発生日及び支払開始日 2020年8月24日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月3日

サイバネットシステム株式会社
取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柴 谷 哲 朗 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 古 市 岳 久 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサイバネットシステム株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サイバネットシステム株式会社及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。